

台湾の彰化高校との国際交流

10月15日(木) 台湾から生徒93名と付き添い教員8名、添乗員・エスコート4名の合計105名の皆さんが泉北に来られました。当日は予定時間よりも早く到着し、11時30分から視聴覚教室で歓迎会が持たれました。本校の絵面校長先生が中国語でご挨拶をされ、彰化高校の代表生徒が流暢な日本語で今回の泉北高校への訪問の抱負と感謝を述べてくれました。記念品は、泉北高校からは金地に満開の桜をあしらった扇子とエンブレム、彰化高校からは銀の飾り楯でした。校長室にございますので、興味のある人は許可をもらって見に行ってください。



昼食は会議室で、国際総務部と食堂のコラボによる特製弁当(ご飯とザーサイ、鳥のから揚げと餃子・シューマイ・コロッケ、スパゲティサラダとお茶、みかん、プリン)を、ほとんどみんなが完食してくれたのは嬉しかったです。

4限目は授業交流で2年1組・6組・7組の皆さんと、異文化理解(ALTのアマンダ先生、ジョシュ先生、吉田先生、久保先生)や数学(山本倫生先生)、生物(木村先生)、物理(川北先生)、化学(蔵谷先生)の授業を受けました。グループ学習などを通して、両校の生徒が机を並べて教え合う授業でした。

5限目は12月にスタディツアーで台湾に行く2年生すべての皆さんと交流を持ちました。まず体育館で歓迎の挨拶とダンス部による歓迎のパフォーマンス、その後各クラス各班に分かれて、お互いの自己紹介や、泉北生が各自持ってきたアイテムを見せながら日本文化の紹介、そして質問や談笑をしながら、最後にダンダン締めをして、日本からのプレゼントを贈りました。その後、グラウンドの階段で記念写真を撮影して、4時過ぎに慌ただしく3台の観光バスを見送りました。

ここ数年、泉北の学校交流は授業交流が中心でしたが、今回は2年生の先生方のご協力を得て、全体でHR交流が行われ、生徒それぞれが、彰化高校の生徒と直接話すことが出来たのは良かったと思います。2年生の生徒の皆さんの様子を見ていると、最初はやや緊張気味でしたが、だんだん打ち解けていく様子がよく分かりました。なかには和菓子と水筒に熱いお湯を用意し、抹茶を点てて台湾の生徒に出している班もあり、さすが泉北生だと思いました。一度でもこのような経験をすれば、外国へ行ってもどこへ行っても、強いコミュニケーション力となるでしょう。2年生の皆さん、御苦労さまでした。そして12月の台湾へのスタディツアーで、素晴らしい旅をしてきて下さい。

